トーストマスターズ インターナショナル

時間記録用紙および計時係に対する指示

出　場　者	スピーチ時間	
	分	秒

審査委員長が指名する2名の計時係が、公式に出場者一人一人のスピーチの時間を計る。そのうちの1名はストップウォッチを持ち、もう1名は緑、黄、赤を表示する信号を出す器具を持つ。

計時係は、出場者に警告信号を出す。警告信号は、出場者からは明確に見えるものとするが、聴衆には明らかにならないものとする。目の不自由な出場者は、自分で選択した、警告信号の器具を請求することができ、認められるものとする。そのような信号に必要な特別の器具や指示事項は、出場者が準備しなければならない。

スピーチの時間が下記に示す最低時間より少ないか、または最大時間よりも多い出場者は、失格となる。スピーチが時間超過となったことを示す信号は与えられない。信号や計時器具の技術的故障の場合は、失格となる前に30秒の特別時間超過が認められる。

計時は、出場者が聴衆に対して、言語または非言語で最初に明確なコミュニケーションを行った時に開始される。通常は出場者が最初の言葉を発した時であるが、音響効果や舞台を意識した他の人物による行為等、その他の手段によるコミュニケーションも含むものとする。

出場者によるスピーチはすべて、コンテストの計時ガイドラインに沿っていなければならない。

国際スピーチコンテスト・ユーモアスピーチコンテスト：スピーチの長さは、5分から7分である。スピーチが4分30秒より短いかまたは7分30秒より長い場合、出場者は失格となる。緑の信号は5分、黄の信号は6分の時点でそれぞれ掲示され、その後は1分間掲示されたままである。赤の信号は7分の時点で掲示され、スピーチが終了するまで掲示され続ける。

テーブルトピックススピーチコンテスト：スピーチの長さは、1分から2分である。スピーチが1分より短いかまたは2分30秒より長い場合、出場者は失格となる。緑の信号は1分、黄の信号は1分30秒の時点でそれぞれ掲示され、その後は30秒間掲示されたままである。赤の信号は2分の時点で掲示され、スピーチが終了するまで掲示され続ける。

論評スピーチコンテスト：論評の長さは、2分から3分である。スピーチが1分30秒より短いかまたは3分30秒より長い場合、出場者は失格となる。緑の信号は2分、黄の信号は2分30秒の時点でそれぞれ掲示され、その後は30秒間掲示されたままである。赤の信号は3分の時点で掲示され、論評が終了するまで掲示され続ける。

ほら話コンテスト：スピーチの長さは、3分から5分である。スピーチが2分30秒より短いかまたは5分30秒より長い場合、出場者は失格となる。緑の信号は3分、黄の信号は4分の時点でそれぞれ掲示され、その後は1分間掲示されたままである。赤の信号は5分の時点で掲示され、スピーチが終了するまで掲示され続ける。

日本語版 2014 年 1 月改定（英語版 Item 1175 Rev. 11/2012 に準拠）